



瑞穂の四季

発行：三木市高齢者大学大学院自治会
発行責任者：自治会会長 立石 勲
編集委員：草間 透 中西富美
発行日：平成30年6月22日
自治会便り 第42号

新入生を迎えて

7人の2年生と22人の新入生を迎え、総勢29人で本年度の大学院の学習がスタートしました。

教養講座では、初めてホールを活用してギターとビオラ演奏を鑑賞しました。

地域活動講座では身近な課題について、クイズ形式の質問にグループで課題解決策を討議しました。少人数という大学院の特徴を生かした濃密な講座が展開されています。又講義の後には学生さんから講師先生に多くの質問がなされ双方向で積極的な学びとなっています。

学びの目的は「自立と共生」です。自らの考えに基づいて判断批判し、自身の力で生きていく「自立」的生活はこれからも高齢者に求められます。そして個人が相互に理解し支え合う関係づくり、地域づくりを目指す「共生」の生き方は現在社会が高齢者に期待しているものです。

2年間という短い期間ですが、学友との絆を深め、充実した学生生活を過ごされますよう願っています。

教務副主任 橘田 和典



有意義だった春季親睦旅行

春季親睦旅行幹事 2年 草間 透

前日の豪雨が嘘のように晴れ渡った梅雨の合間、恒例の大学院春季親睦旅行は古都奈良へ。

市内各所からバスに乗り中国道から阪奈道路を経て一路奈良へ。市内は時節柄観光バスの大渋滞。東大寺の予定を変更して重文展示の「興福寺」へ。間近で見る仏像に歴史を感じた。

次に春日大社へ。インスタ映えする灯籠の数々に感動しきり。昼食は立派な庭園が一望



できる天平倶楽部で花摘み弁当でお腹を満たし、次の目的地的の東大寺へ。午前中の渋滞も緩和し待つこと数分。目の当たりにする18mの奈良の大仏に圧巻された。事務局を含め26名と少人数でしたが親睦を深めた1日だった。

自治会会長の所信

思い起こせば1年前大学院1年生として、8名で入学しその当時「少数精鋭で頑張れ」と激励を受け、2年生に迷惑をかけず、足手まといにならない様、何とか1年間を過ごしてきました。その1年間の間で1名が、退学し7名となりました。新一年生は22名の入学があり、何とか体制は取れてきたと思っています。この1年間の自治会活動をどう取り組んで行くのか、7名全員でその時々の問題に対して取り組んでいく体制を、作り上げたいと思っています。

しかし、人的不足はどうすることも出来ず、各行事において、1年生に頼らざるを得ません。出来る限り2年生の範疇で進めて行くように考えてはおりますが、協力できる事柄について何卒宜しく願いいたします。私達7名の2年生は、学生自治会の運営に関しては、団結・協力を惜しまず精一杯努力していくつもりです。何卒、大学・1年生共に、力をお貸しく下さい。

自治会会長 2年 立石 勲

大学院への思い

私は、趣味や交際の幅を広げ新たな生きがいを見つけたい。その思いから夢と希望を抱いて三木市高齢者大学に入学しました。入学当初は自治会活動などに振り回され、何をすることも余裕がなく大学生活が苦痛で退学を考えた時期もありました。

しかし2年、3年と大学生活を過ごしているうちに、クラス仲間との親交が深まり大学生活が楽しく思えるようになってきました。

それまで大学院進学は全く考えていなかったが卒業が近づくと、楽しい旅行や体育祭での3連覇、グラウンドゴルフでの2度の優勝等を思い出すと、このまま卒業して一緒に過ごした仲間と別れてしまうことに寂しさを感じ、クラスの全員に声を掛け大学院入学を決意しました。

これからの大学院生活を仲間と共に楽しく充実したものにしたいと思っています。

自治会副会長 金丸 正

シャフルボード大会を開催

5月15日午前9時～実施

私は、地区老人クラブの会長を務めていた頃に、三木市老人クラブ連合会がシャフルボードセットを購入し、中央公民館で発表会がありました。この競技は広い会場が必要であり、地区によっては会場が用意できないスポーツと感じました。これが最初の印象です。

昨年、大学院に入学し、5月に初めて競技に参加しました。オリンピック競技のカーリングと同じようなスポーツで何とかなる思いで参加しましたが、相手のディスク（円盤）をキュー（棒）で弾き飛ばして自分達のチームの得点を増やす難しいスポーツです。

本年は、お世話をする立場となり、1年生11名2年生5名計16名の参加があり、1・2年生混成チーム4組の競技大会でC組が優勝しました。

昨年は、2回競技に参加しましたが、全く競技方法を覚えておりませんでした。助け舟として藤原・橘田両先生のアドバイスを頂き無事開催することが出来、競技も終盤に入ると自信がつき面白くなってきました。

次回は、来年春、新年会を兼ねた全員参加の大会となります。皆さま、来年も頑張ってください。

2年 武原 弘和